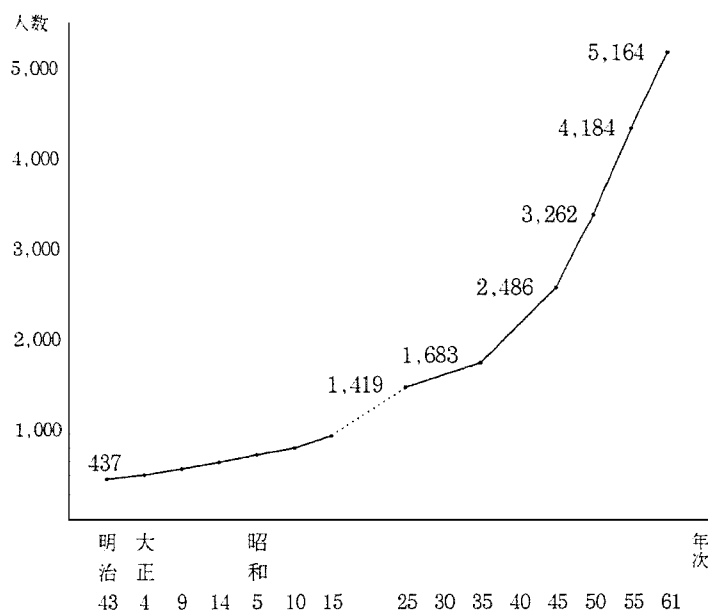


増加しつつある乳癌について

都留市立病院 外科 小澤 昭人

今回は、近年増加し続けている乳癌についてお話ししたいと思います。乳癌は大腸癌などとともに高脂肪食関連連癌とされ、食生活の欧米化にともない、着実に増加してきており、二〇一〇年には、女性の罹患する癌では、胃癌を抜いて第一位になると予測されています。昭和六十一年度の乳癌総死者数は五〇〇〇人を越え(図1)、その一年間で新たに発見された乳癌患

わが国での乳癌死亡者数の推移 (図1)
(厚生省人口動態統計による)



と異なり、自己検査を勧めている理由でもあり、また集団検診でも触診を中心として行われているわけです。

しかし、早期に発見するためには触診だけでは限界があり、補助診断法が必要となってきます。まずその一つが、マンモグラフィという専用装置を用いたレントゲン検査です。コンピュータ画像処理の工夫などにより、かなり診断率も向上してきており、また仮に三十歳から毎年この検査を受ける弊害はほとんど心配無いくことがわかっています。

もう一つの診断法は超音波検査であり、一センチメートル未満のしこりでもかなり高率に発見出来、また必要があれば、超音波で確認しながら細かい針で細胞を吸引して調べることも可能です。(穿刺吸引細胞診と言います)

都留市立病院においても、平成七年十二月より毎週水曜日の午後乳癌外来(甲状腺外来も併設)を開始し、前記の様な検査を行っていますので、しこりが気になる方、乳頭から分泌がある方、血縁に乳癌のおられる方等、受診していただきたいと思います。

なお、治療は手術が原則ですが、近年、早期の乳癌の発見が増えてきたこと、乳房を失いたくないという強い要望等から、適応を限って、乳房温存手術も行われるようになってきています。

奨学資金制度をご存じですか？

市では、保健婦、看護婦(士)、准看護婦(士)及び介護福祉士を養成する学校または養成所に入学会するに在学する方で、将来都留市及び都留市立の医療機関または福祉施設において看護職員、介護職員として業務に従事しようとする方に対して奨学資金を貸与します。

- 1 保健婦・看護婦
月額 35,000円
- 2 准看護婦・介護福祉士
月額 30,000円
- 3 入学支度資金(入学時)
30,000円

貸与の方法は、毎年二回に分けて四月と十月に交付します。

なお、学校または養成所を卒業した日から一年以内に看護職員または介護職員として必要な免許を取得し、当該免許取得後、市の職員に採用され、かつ、引き続き三年以上勤務した場合、貸与を受けた奨学資金は、返還を免除されます。詳しくは、保健環境課に問い合わせてください。



献血にご協力をお願い!!

日頃、市民の皆さんには献血への深いご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。次の日程で献血を実施しますので、ご協力をお願いいたします。

日時 3月26日
午前10時～11時30分
午後12時30分～3時
場所 市役所前駐車場
主催 都留ライオンズクラブ
協賛 都留市

日本の献血はいま

全献血者の約48%が成分献血と400ml献血
1993年の総献血者数は721万人。
そのうち成分献血者数142万人、400ml献血者数200万人。200ml献血者数373万人です。

国内自給を目指して

血液中の血漿成分から製造される血漿分画製剤の国内自給率はわずかです。このような状態は輸入製剤によるエイズ感染の苦い経験からも、できるだけ早い時期に国内の献血による完全自給の必要があります。